

【「ぼうさいこくたい 2021」セッション企画】

公開シンポジウム

「21世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは～防災統合知の構築戦略～」

主 催： 防災減災連携研究ハブ（JHoP）、日本学術会議土木工学・建築委員会 IRDR 分科会

日 時： 令和3年11月6日（土）16：30～18：00

場 所： オンライン（zoom、YouTube Live配信）

開催趣旨： 南海トラフ地震、首都直下地震など巨大災害の発生が切迫している。また、地球規模の気候変動により、全国的に甚大な水害の発生の危険性が高まっていて、経済・社会活動が集中する首都圏では深刻である。こうした国難級リスクに適切に備え、被害を軽減し、並びに早期に回復する力、つまり災害レジリエンスの向上を図るためには、既存の学問分野の枠組みに囚われず、人文社会科学も含めた「総合知」により立ち向かう必要がある。他分野で活躍する日本を代表する研究者らによって、その構想や戦略について討議する。

次 第：

16：30 開会挨拶

林 春男（国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長、日本学術会議連携会員）

16：35 災害レジリエンスの「型」の構築

永松 伸吾（国立研究開発法人防災科学技術研究所災害過程研究部門部門長／関西大学社会安全学部教授）

16：45 リアルタイム災害科学の創成とレジリエンスの数量化

越村 俊一（東北大学災害科学国際研究所教授）

16：55 洪水予測を効果的に用いてレジリエンスを高めよう

宮本 守（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター研究員）

17：05 インフラストラクチャー・レジリエンス・フレームワーク

大西 正光（京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授）

17：15 被災現場の知見をいかにつないでいくのかー実務者と研究者の共創的取り組みー

荒木 裕子（名古屋大学減災減災連携研究センター特任准教授）

17：25 統合知でレジリエンスを高めるオンライン・シンセシス・システム

井ノ口 宗成（国立研究開発法人防災科学技術研究所主幹研究員／
富山大学都市デザイン学部准教授）

17：35 総合討論

（司会） 川崎 昭如（東京大学特任教授、未来ビジョン研究センター グローバル・commons・センター、日本学術会議連携会員）

17：55 閉会挨拶

小池 俊雄（国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長、日本学術会議第三部会員）

連絡先：

水元 伸一、五十嵐 久留美（国立研究開発法人防災科学技術研究所）
<mizumotos@bosai.go.jp、k-igarashi@bosai.go.jp>